道路の現況

北海道には、約1,000kmの高規格幹線道路と約90,000kmの一般道路があります。一般道路のうち、一般国道が約6,000km、道道が約12,000km、市町村道が約71,000kmとなっています。高規格幹線道路の一部と一般国道については、北海道開発局が新設、改築、維持、災害復旧などの管理を行っています。

道路の延長

道路種別	道路種別(km) 全国(A)	北海道(B)	B/A(%)	開発局管理(C)	C/A(%)	摘要
高規格幹線道路	11,906	1,165	9.8	445	3.7	北海道縦貫自動車道 444km 北海道横断自動車道 344km 高速自動車国道に並行する一般国道自動車専用道路 103km
高速自動車国道	9,053(1,004)	788(103)	8.7	76(103)	0.8	
一般国道の自動車専用道路(本州四国連絡道路を含む)	1,849	274	14.8	266	14.4	
一般道計	1,212,966	89,307	–	6,368	–	
一般国道	53,512	6,368	–	6,368	–	路線数 48路線
都道府県道	129,667	11,861	–	–	–	路線数 900路線
主要地方道	57,905	4,556	–	–	–	路線数 163路線
一般都道府県道	71,762	7,305	–	–	–	路線数 737路線
市町村道	1,029,787	71,078	–	–	–	路線数 116,397路線

(注)※高規格幹線道路 全国(A)については、平成31年度 道路関係予算概要 国土交通省 道路局・都市局(平成31年1月)、北海道(B)については、北海道開発局資料による。
※高規格幹線道路については、平成30年度末の道路延長である。
※高規格幹線道路( )内は、高速自動車国道に並行する一般国道の自動車専用道路で外数であるが、高規格幹線道路の計には含まれている。
※一般国道、都道府県道、市町村道については、道路統計年報2018(平成29年4月1日現在)による。
※端数処理の関係上、各道路種別を合算した数値と計の数値が等しくない場合がある。

高規格幹線道路の整備状況

高規格幹線道路網は、高速交通サービスの全国的な普及や、主要都市、空港・港湾などの主要拠点間の連絡強化を目的とした自動車専用道路です。

昭和62年6月26日の道路審議会の答申に基づき約14,000kmの高規格幹線道路網が決定されました。

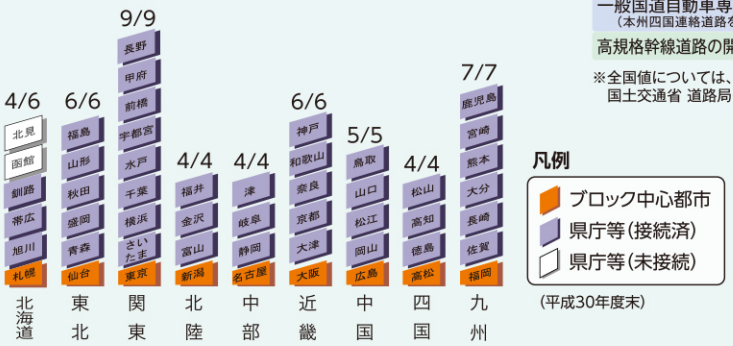
高規格幹線道路の開通区間

(km)

	全国	北海道
高規格幹線道路の計画延長	約14,000	1,825
高速自動車国道	–	–
予定路線	11,520	1,375
基本計画	10,623	1,024
整備計画	9,428	889
開通延長	9,053	788
一般国道自動車専用道路(本州四国連絡道路を含む)	約2,480	450
高規格幹線道路の開通延長	11,906	1,165

※全国値については、平成31年度 道路関係予算概要 国土交通省 道路局・都市局(平成31年1月)による

高規格幹線道路によるブロック中心都市と県庁所在地等のアクセス状況



※高速自動車国道には高速自動車国道に並行する一般国道の自動車専用道路を含む。